

一問一答プリント 日清戦争・日露戦争と近代産業1

- ① 19世紀後半に欧米列強が進めた、軍事力によってアジアやアフリカなどの地域を植民地とする動き。
- ② 鹿鳴館で舞踏会を開くなど、外務卿（大臣）の井上馨が採った政策。
- ③ 不平等条約の改正を求める世論が高まった、イギリス船が和歌山県沖で沈没し、日本人乗客全員が水死した事件。
- ④ 日清戦争直前の1894年、領事裁判権の撤廃に応じた国。
- ⑤ ④との間で、領事裁判権の撤廃に成功した外相。
- ⑥ 日露戦争後の1911年に、関税自主権の完全な回復に成功した外相。
- ⑦ 1894年に東学を信仰する農民たちが、朝鮮半島南部一帯で蜂起し、日清戦争のきっかけとなったできごと。
- ⑧ 1895年に結ばれた、日清戦争の講和条約。
- ⑨ ⑧で日本が獲得したリテオト半島を清に返還するように、ロシア・ドイツ・フランスが日本に勧告したできごと。
- ⑩ 列強に反発し、「扶清滅洋」を唱えて蜂起した集団が、北京にある各国公使館を包囲し、日本をふくむ連合軍に鎮圧されたできごと。
- ⑪ ロシアに対抗するために、1902年に日本が④と結んだ同盟。
- ⑫ 日露戦争に出兵した弟を思って「君死にたまふことなかれ」という詩を発表した歌人。

解答らん

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫